



◎評議員會並定時會員總會

本會評議員會並第十七回定時會員總會は九月二十八日午後三時、丸ノ内日本俱樂部に於て開催された。定刻に至り水野會長議長席に就き、慣例に依り評議員會と會員總會とを併合開會する旨を宣し且つ本會開催の時期遅延したるの理由を述べて挨拶せられ直に開會、昭和十年度事務報告、昭和十年度一般會計及特別會計報告を承認し次に昭和十一年度一般會計歳入出豫算及特別會計歳入出豫算を承認した議長は此場合昭和十一年度施行の一號國道視察は現下尤も適切なる計畫なるを以て多數の参加を希望し尙理事は五人分の經費を見積りあるを以て之れ亦了承せられ参加ありたき旨を述べらる、次で評議員會は定款第七條に依り左記十

氏

- | | |
|-------------|--------|
| 内務省土木局長 | 岡田文秀 |
| 内務省土木局道路課長 | 新居善太郎 |
| 内務技師 | 三浦七郎 |
| 同 | 佐藤利恭 |
| 内務省東京土木出張所長 | 辰馬鎌藏 |
| 内務省下關土木出張所長 | 牧野雅樂之亟 |
| 内務省都市計畫課長 | 雪澤千代治 |
| 内務省地方局長 | 大村清一 |
| 内閣調査局調査官 | 飯沼一省 |
| 工學博士 | 眞田秀吉 |
- を推薦に決す、議長は總會に對し前記十氏を評議員と爲す件を付議し總會は之を可決す。議長は更らに評議員會に對し理事選舉ノ件を付議し岡田土木局長に決す、議長は岡田理事を廣瀨理事の後任として常務理事に指名したる旨を報告し、之れにて付議事項を全部終了したるを以て閉會の旨を宣して懇談に移る、新井道路課長は谷口事務官をさし招

き一號國道視察計畫の概要を説明せしめられた。橋本副會長より這回發表せられたる國稅地方稅制改革はガソリン稅が新設せらるるので自動車業者に取りては頗る苦痛を感じしめらるる事となるからガソリン消費量及タイヤ損傷の減少を來たさしめ以て業者の苦痛輕減と交通者の利便との爲めに更らに本會は一段の努力を盡し道路改良の普及を圖られんことを望む旨を述べられ、末松評議員は國立公園道路開設の急務なるを述べ内務當局者の方針を問はれた、新居道路課長は道路改良に關する從來の經過、財政上の措置及多年懸案の國道改良繼續費編成の顛末、關門隧道開鑿計畫並國立公園道路改設に關する意見等を述べられ胸襟をひらいて懇談を遂げられて散會した。

昭和十年度事務報告は次の通である。

昭和十年度事務報告

昭和十年度ニ於ケル事務ノ概要左ノ如シ

道路改良講演會開催ノ件

昭和十年八月二十八日ヨリ同月三十日ニ至ル三日間仙臺

高等工業學校講堂ニ於テ道路改良講演會ヲ開催シタリ講演科目ハ道路法、道路ノ雪害對策、東北地方ノ道路構造、冬期ニ於ケル「コンクリート」施行法、寒冷地方ニ於ケル橋梁設計、冬期ニ施工シタル道路工事ノ經驗、最近歐米各國ノ道路事情、道路雜感、土木工事施行上ノ注意、東北地方ノ道路維持等同地方ノ實狀ニ即シタル理論ト實際ニ涉ルモノヲ選擇シ尙國道四號線及六號線ノ「コンクリート」鋪裝道路、阿武隈橋梁、仙鹽道路、松鹽道路等ノ見學ヲ行ヒテ現地指導ニ力メ東北地方振興ニ寄與スル所アリタリ。尙聽講者ハ東北六縣ノ縣、市、町、村道路關係職員三百六十餘名ニ上リタリ。

調査事業ニ關スル件

昭和十年度以降調査部事業トシテ執行スル諸般ノ調査ハ之ヲ次ノ八部ニ分チ調査、研究ノ達成ニ力メツツアリ、即チ第一部ハ道路ニ關スル一般事項ノ調査、第二部ハ國際道路問題準備調査、第三部ハ六大都市道路協議會ニ關スル事項ノ調査、第四部ハ平面交叉除却調査、第五部ハ道路職員

必携編纂發行、第六部ハ道路資料發行、第七部ハ道路改良宣傳資料蒐集發行、第八部ハ道路改良史ノ編纂事業ニシテ第二部ニ屬スル調査事項ハ次回國際道路會議ノ議題未決定ノ爲審議ニ入ラサルモ第一、第三ノ兩部ハ各部門ヲ小委員ニ附託シテ目下夫々調査中ナリ、第四部ハ道路ト鐵道トノ交叉方法ニ關スル根本方針ノ決定、既設踏切ノ改良順位方法費用負擔、立體交叉ノ經濟的設計、交通信號統一等ニ關シ銳意調査中ニアリ、第五部ニ於テハ道路職員必携ノ編纂既ニ成リ目下印刷中ニ屬ス、第六部ハ道路ニ關スル資料、道路費ニ關スル財源等具體案ノ研究審議ヲ進メツツアリ、第七部ニ於テハ一般及全國小學校兒童ヨリ道路ノ改良並ニ愛護ニ關スル實話及標語ヲ募集中ナリ、第八部ニ於テハ道路改良ノ事蹟其他ニツキ部門ヲ分チテ各方面ヨリ記錄、寫眞等ヲ蒐集中ナリ。

道路改良ノ促進ニ關スル件

一、建議

(一) 道路改良繼續費ニ關スル件 從來政府ノ道路改良費

ハ單年度豫算ニ依リ編成セラレ事業ノ性質上甚タ遺憾トスル所ナルノ以テ今後繼續事業費トシテ編成セラレムコトヲ昭和十年八月二十日內閣總理大臣、內務大臣及大藏大臣ニ夫々建議シタリ。

(二) 新京濱國道ニ關スル件 現在京濱國道ニ於ケル交通量ハ既ニ飽和狀態ニ達シ交通上ノ支障甚シキヲ以テ速ニ新線築造ニ着手セラルル様昭和十年八月二十日內閣總理大臣、內務大臣及大藏大臣ニ夫々建議シタリ。

(三) 關門連絡道路ニ關スル件 本州ト九州トヲ一貫シテ自動車交通ヲ可能ナラシムルハ産業上國防上焦眉ノ急ナルヲ認メ之カ連絡路線ノ開設ヲ要望スル旨昭和十年八月二十日內閣總理大臣、內務大臣、大藏大臣、陸軍大臣、海軍大臣及鐵道大臣ニ建議シタリ。

右建議中(一)及(二)ハ當局ノ容ルル所トナリ昭和十一年度ニ於テ實現セラレタリ。

二、パスフレット配布

新京濱國道開設ニ關シテハ前項ニ於テ報告シタルカ如ク

關係當局ニ建議スル一方輿論ノ喚起ニ資スル爲、現京濱國道ノ實狀ヲ詳記シタルパンフレット「京濱國道の現狀」ヲ刊行シテ關係官廳、貴衆兩院議員其他關係方面ヘ配布シタリ

優良道路工夫表彰ノ件

昭和十年四月天長ノ佳節ニ當リ宮崎縣ニ於テ優良道路工夫表彰式舉行ニ付、被表彰者中、成績特ニ優良ナル者三名ニ對シテハ本會ヨリモ表彰セラレタキ旨ノ申出アリタルヲ以テ審議ノ結果、右三名ヲ表彰シタリ。

會員ノ狀況ニ關スル件

昭和十一年三月末ニ於ケル會員數ハ前年ニ比シ會員二十名賛助員二百六十四名ヲ増加セリ。

雜誌發行ニ關スル件

機關雜誌「道路の改良」ハ相當ノ成績ヲ收メ其發行部數モ前年度ニ比シ約三百ヲ増加スルニ至レリ。

◎内務省土木局内の異動

山形縣知事金森太郎氏が東北興業株式會社副總裁に就任

の爲め依願退官せられ其の後任に内務省土木局河川課長武井群嗣氏が榮轉せられ、爲めに十月七日道路課長新居善太郎氏が河川課長に、鹿兒島縣經濟部長から内務書記官に轉ぜられた阿部邦一氏が道路課長となられた、尙糞に神奈川縣警察部警務課から内務事務官に轉ぜられた細田德壽氏が道路課並に港灣課に勤務せられて居る、今叙上の諸氏の略歴を記すれば左の通である。

武井群嗣氏

一、明治二十二年九月十七日 群馬縣利根郡利南村大字沼須村に生る

一、大正四年三月二十六日 東京高等師範學校本科理歷史部卒業、師範學校、中學校、高等女學校修身科、教育科、地理科、歷史科、法制及經濟科、體操教員免許狀授與

一、大正五年三月三十一日 愛媛縣師範學校教諭兼訓導
一、同五年七月二十一日 東京高等師範學校助教諭訓導
一、同六年九月十日 京都帝國大學法科大學法科入學

一、同八年十月二十五日 高等官試驗行政科試驗に合格

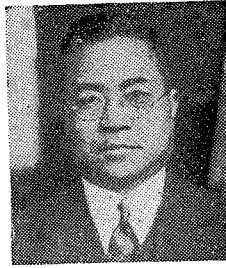
一、同九年七月五日 京都帝國大學法學部法律學科卒業

一、同年七月二十六日 內務屬(衛生局勤務)

一、同十年六月二十五日 神奈川縣足柄上郡長

一、同十一年七月十二日 神奈川縣高座郡長

一、同十二年四月二十一日



青森縣理事官(內務部學務
兵事課長)

一、同十三年五月二十一日

歐米各國へ出張

一、同年十二月二十日地方事

務官、青森縣視學官

一、同十四年五月五日 東京府地方事務官

一、同十四年十月一日 內務事務官(土木局河川課勤務)

一、昭和六年十二月二日 復興事務局書記官(經理課長)

兼內務事務官

一、同年十二月二十四日 內務書記官土木局道路課長

一、同七年一月三十日 鐵道書記官兼任

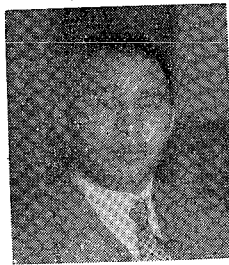
一、同九年三月三十一日 土木局河川課長

一、同十一年十月七日 山形縣知事

新居善太郎氏

一、明治二十九年一月十六日 栃木縣足利市大字足利に生

る



一、大正十年六月 東京帝國
大學法學部法律科卒業

一、同十一年二月十七日 東

京府屬

一、同十二年三月二十八日 廣島縣佐伯郡長

一、同十五年五月三十一日 復興局事務官

一、昭和四年五月一日 內務事務官(土木局道路課勤務)

一、同七年六月二日 內閣總理大臣祕書官兼任

一、同九年三月七日 文部大臣祕書官兼任

一、同年七月十一日 內務書記官、土木局道路課長

一、同年八月二十五日 鐵道書記官兼任

一、同十一年十月七日 土木局河川課長

阿部邦一氏

一、明治三十二年十二月五日 徳島縣麻植郡半島村大字牛

島に生る

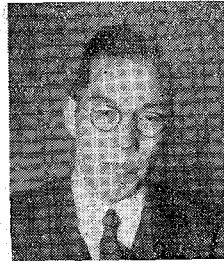
一、大正十一年十一月 高等

試験行政科試験合格

一、同十二年三月二十一日

東京帝國大學法學部法律科

卒業



一、同年四月二十五日 東京屬（學務課兼庶務課勤務）

一、同十三年九月二日 石川縣河北郡長

一、同十五年五月十二日 地方事務官（大阪府勤務）

一、昭和五年三月二十七日 都市計畫地方委員會事務官兼

地方事務官（兵庫縣勤務）

一、同十年二月二十日 歐米各國に出張

一、同十一年二月十三日 鹿兒島縣書記官經濟部長

一、同年十月七日 內務書記官土木局道路課長

細田德壽氏

一、明治三十七年八月五日 茨城縣水戸市上市仲町に生る

一、大正十一年 茨城縣立商業學校卒業

一、昭和三年三月 東京帝國大學法學部政治學科卒業

一、同三年十月二十二日 內務屬（土木局港灣課勤務）

一、同七年一月十八日 地方警視（秋田縣警察部勤務）

一、同年九月十九日 神奈川縣警察部勤務

一、同十年一月二十六日 神奈川縣警察部警務課長

一、同十一年七月三日 內務事務官（土木局道路課兼港灣

課勤務）

x x

x x